

科目名 Course Name	FP 演習Ⅲ FP Exercise III			ナンバリング No.	C3-011		
年次	2年	期別	前期	単位数	1	授業形態	演習
担当者氏名	水谷 恒夫						
連絡方法	非常勤講師室又は C-Learning で対応。						
必修/選択	選択						
関連 DP	DP1、DP2、DP5						
授業の概要と到達目標	個人の家庭のライフプランをベースに、貯蓄や投資、保険、年金、不動産、税金、相続などを包括的にアドバイスする専門家＝ファイナンシャルプランナーの育成を目指す。 専門家として必須の国家資格である FP 技能士 2 級検定試験の合格を目指す。						
授業の方法	講義形式で行う。問題演習が中心となる。問題集や過去問を使用するが、テキストで照らし合わせを行うので、同時にテキストも持参すること。						
学習成果	L01	ライフプランニングと資金計画、リスク管理と保険、金融資産運用に関する基本的な知識を習得し、アドバイスや計画を立てることができる。					
	L02	ライフプランニングと資金計画、リスク管理と保険、金融資産運用に関する基本的な知識を習得し、アドバイスや計画を立てることができる。					
	L03						
	L04						
課題に対するフィードバック	問題演習は模範解答を示し、各自にフィードバックする。						
教科書/参考図書	①一発合格！FP 技能士 2 級 AFP 完全攻略実践問題集 22-23 前田信弘著(ナツメ社)						
履修上の留意点やルール等	C-Learning で出席入力を行いますので、遅刻しないように教室に集まること。 事前・事後学習に費やすべき時間の目安は各回 180 分とする。 板書を記入するノートと電卓(12 桁推奨)を用意すること。 授業中スマートフォン等は使用しないこと。						
担当教員の実務経験	職種:①証券会社勤務経験 職歴:約 23 年 ②FP 事務所経営 職歴:約 13 年						

成績評価の方法と基準					
評価の領域	評価基準	学習成果の割合			
		L01	L02	L03	L04
授業参加態度	板書をノートに記入し、スマートフォン等は使用しないこと。				
レポート/作品					
発表					
小テスト	第 10 回目をめどに小テストを行う。評価割合は 50%とする。評価割合は 50%とする。	25	25		
試験	評価割合は 50%とする。	25	25		
その他	S の条件は合計で 90%以上である。				
<b>合計</b>		50	50		

回数		授業計画
1	授業内容	ライフプランニングと資金計画(1): ファイナンシャル・プランニングと関連法規・社会保険
	事前・事後学習	該当箇所をテキストで確認
2	授業内容	ライフプランニングと資金計画(2):社会保険の概要(医療保険、介護保険、労働保険)
	事前・事後学習	該当箇所をテキストで確認
3	授業内容	ライフプランニングと資金計画(3):公的年金①
	事前・事後学習	該当箇所をテキストで確認
4	授業内容	ライフプランニングと資金計画(4):公的年金②
	事前・事後学習	該当箇所をテキストで確認
5	授業内容	ライフプランニングと資金計画(5)教育資金、住宅資金、まとめ
	事前・事後学習	該当箇所をテキストで確認
6	授業内容	リスク管理と保険(1):保険制度の概要、生命保険の基礎
	事前・事後学習	該当箇所をテキストで確認
7	授業内容	リスク管理と保険(2):保険約款、保険料払い込み、生命保険商品
	事前・事後学習	該当箇所をテキストで確認
8	授業内容	リスク管理と保険(3)個人年金保険、医療保障、損害保険
	事前・事後学習	該当箇所をテキストで確認
9	授業内容	リスク管理と保険(4):損害保険、損害保険と税金
	事前・事後学習	該当箇所をテキストで確認
10	授業内容	リスク管理と保険(5)法人の経理処理、まとめ
	事前・事後学習	該当箇所をテキストで確認
11	授業内容	金融資産運用設計(1):マーケット環境の理解、貯蓄商品、債券の仕組み
	事前・事後学習	該当箇所をテキストで確認
12	授業内容	金融資産運用設計(2):債券の利回り計算とリスク、株式
	事前・事後学習	該当箇所をテキストで確認
13	授業内容	金融資産運用設計(3):投資信託、外貨建て商品、金融派生商品
	事前・事後学習	該当箇所をテキストで確認
14	授業内容	金融資産運用設計(5):デリバティブ商品、まとめ
	事前・事後学習	該当箇所をテキストで確認
15	授業内容	金融資産運用設計(5):デリバティブ商品、まとめ
	事前・事後学習	該当箇所をテキストで確認